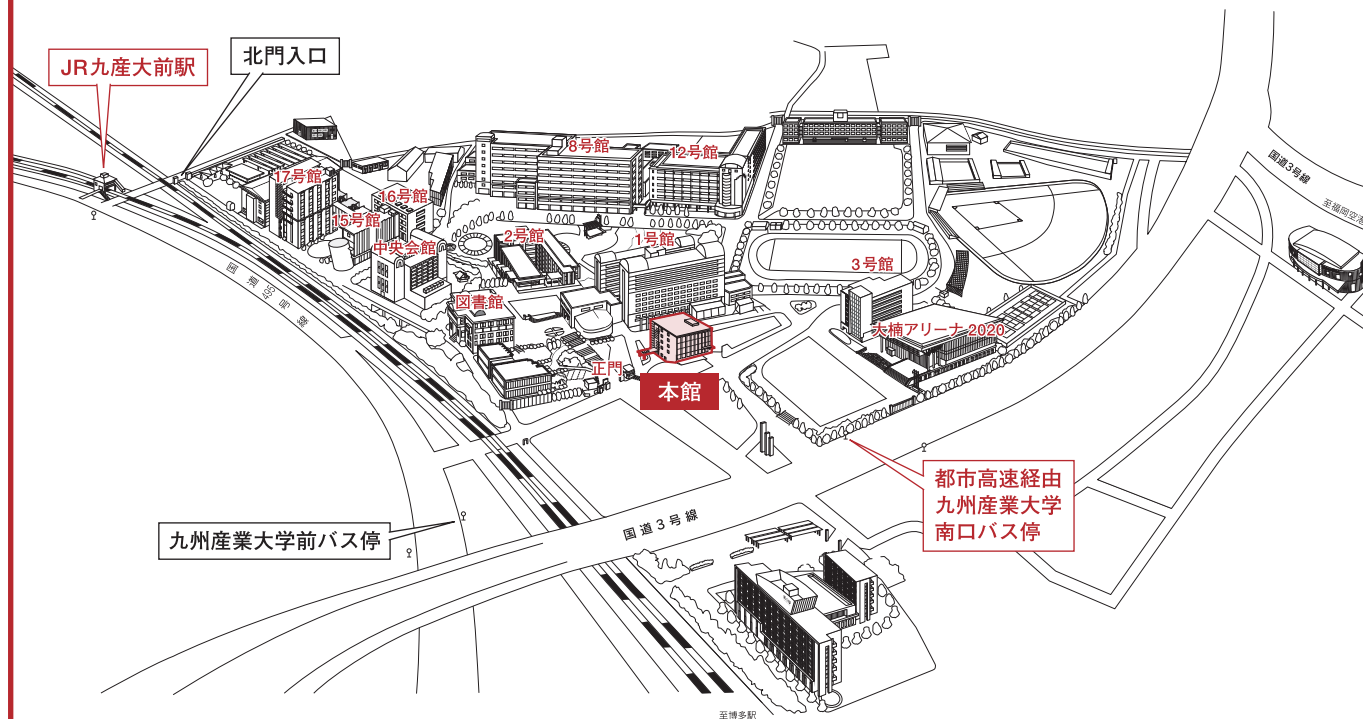


会場・アクセス [キャンパスマップ]



[アクセスマップ]



・原則として公共の交通機関のご利用をお願いいたします。



観光地経営 リーダー育成 プログラム



Tourism Destination Management Leadership Development Program

募集定員
60人

このプログラムは、
「福岡県
地域観光リーダー
人材育成事業」
対象のプログラムです。
詳細は中面を
チェック!

受講料
10万円

(別途、現地学習に伴う費用(バス代・保険料・宿泊費等)の実費を
ご負担いただきます。)

▶ 実施期間 — 8月31日(土) ~ 11月9日(土)

▶ 授業形態 — オンライン (Zoom)、対面 (九州産業大学本館3階大会議室)

▶ 受講対象者 — 自治体、観光協会/DMO、観光まちづくりに取り組む団体、観光系企業 (宿泊業、旅行業、運輸業等)、
(詳細は中面に記載) 観光分野への事業多角化を図る企業で働く方 他

▶ 後援/福岡県

問い合わせ先

九州産業大学 大学改革推進本部

リカレント・リスキリング教育担当 TEL092-673-5178/5513

✉ Mail ksu-management@ml.kyusan-u.ac.jp

本プログラムは、観光庁が令和5年度に公募した「ポストコロナ時代における観光人材育成事業」のモデル事業に採択されたもので、観光庁の「ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン」に基づき、全国展開が可能な汎用性の高い人材育成プログラムとして開発されました。

▶ 開設科目等一覧(全28科目 31コマ) (1コマ=90分)

区分	No.	実施日	科目名等 講義概要	担当者	授業方法 (コマ数)
開講式		8月31日 ^土 13:00 └ 14:00	開会式(研修生ワークショップ) 本プログラムの趣旨及びプログラム概要等に関する説明を行う。	千 相哲 (九州産業大学副学長 /地域共創学部観光学科教授)	対面
Ⅰ 現代の観光地経営の動向	1	8月31日 ^土 14:10 └ 15:40	現代の観光を読む 観光発展の可能性、地方創生の可能性、今後求められる観光振興のあり方などについて検討する。	吉澤 清良 (立命館アジア太平洋大学 サステイナビリティ 観光学部教授)	対面 (1) 
	2	9月3日 ^火 18:00 └ 19:30	観光×地域創生 わが国は人口減少、少子高齢化、経済の長期低迷のなか、20世紀を支えた工業立国、貿易立国の基礎が揺らぎ、国際競争力が低下している。一方で、21世紀初頭からの「観光立国」への取り組みが次第に成果を見せ始めてきた。大打撃を受けた新型コロナの影響から立ち直りつつある今、地域を活性化する方法としての観光の重要性を改めて学ぶ。	田代 雅彦 (九州産業大学地域共創学部 観光学科教授)	オンライン (Zoom) (1) 
	3	9月7日 ^土 13:00 └ 14:30	世界の持続可能な観光の取り組み 持続可能性という言葉がより広範囲で使用されている米国の例や、環境負荷や地域保全、地域住民の質向上を資本主義の枠組み内で実践している企業例を世界に求めている理解する。	原 忠之 (九州産業大学地域共創学部客員教授 /セントラルフロリダ大学 ローゼン ホスピタリティ経営学部 テニユア付准教授)	対面 (1) 
Ⅱ 観光地経営戦略	4	9月7日 ^土 14:50 └ 16:20	ディステーションマネジメント 観光地を経営するという意味は、地域内の限られた経営資源を最も投資効果の高い成長分野に集中する事である。世界最先端の観光地での観光地経営について、事例をベースに対外的普遍性を導き出して日本国内外での応用に活用する。	原 忠之 (九州産業大学地域共創学部客員教授 /セントラルフロリダ大学 ローゼン ホスピタリティ経営学部 テニユア付准教授)	対面 (1) 
	5	9月8日 ^日 13:00 └ 14:30	地域が稼ぐ観光戦略 観光を地域経済育成に資する産業として捉える場合、産業政策策定が必要となる。世界で最もインバウンド層から稼いでいるのは米国だが、観光奨励の目的は地域住民の生活の質の維持または向上である。地方政府やDMOが地域住民の生活の質を向上させるためには、観光産業育成奨励への資金を自分で稼ぐことが必須であり、その手法を世界最先端の米国事例から学ぶ。	原 忠之 (九州産業大学地域共創学部客員教授 /セントラルフロリダ大学 ローゼン ホスピタリティ経営学部 テニユア付准教授)	対面 (1) 
	6	9月8日 ^日 14:50 └ 16:20	ホスピタリティ産業のグローバル戦略 米国が世界レベルでのホスピタリティ産業を主導しているのが現状であるが、どのような事を如何に実践してグローバル企業となっているのかをホテル企業を中心に学んでいく。	原 忠之 (九州産業大学地域共創学部客員教授 /セントラルフロリダ大学 ローゼン ホスピタリティ経営学部 テニユア付准教授)	対面 (1) 

Tourism Destination Management Leadership Development Program

区分	No.	実施日	科目名等 講義概要	担当者	授業方法 (コマ数)
Ⅱ 観光地経営戦略	7	9月10日 ^火 18:00 └ 19:30	ファイナンスの基礎 企業(ビジネス)価値を最大化させるために企業がどのように資金調達し、どのように運用するべきかについて学ぶ。	林 昭信 (株式会社筑邦銀行執行役員 コンサルティング本部 本部長)	オンライン (Zoom) (1) 
	8	9月11日 ^水 18:00 └ 19:30	ファイナンス(事業戦略と企業財務) 企業経営の意思決定の重要な要因となるさまざまな「価値」の算出方法に必要な知識と実務に付随することを学ぶ。	林 昭信 (株式会社筑邦銀行執行役員 コンサルティング本部 本部長)	オンライン (Zoom) (1) 
	9	9月12日 ^木 18:00 └ 19:30	経営戦略基礎 経営戦略のおもな理論とその体系を理解し、個々の企業が有する独自の経営資源を活かし持続的競争優位性を維持する戦略について学ぶ。観光地経営において地域が持っている資源こそが競争優位性の源泉である。資源ベースの戦略を中心に、事例を参考としながら学ぶ。	木下 耕二 (九州産業大学商学部 経営・流通学科准教授)	オンライン (Zoom) (1) 
Ⅲ 観光地マーケティング	10	9月17日 ^火 18:00 └ 19:30	マーケティングの基礎 東販のナショナルブランドのほか、全国の地方の中小企業を対象にマーケティング支援を行ってきた。九州産業大学商学部で教鞭をとるほか、実務家・官公庁職員・海外の観光官僚などを対象にマーケティング研修を行っている。研究テーマは、地域ブランド、ふるさと納税、地域産品振興、観光マーケティングなど。本プログラムでは、競争優位性・リピート促進・ブランド形成などの視点から、実践に役立つマーケティングの基本的なフレームワークのいくつかを学ぶこととする。受講者の属性を踏まえながら、簡単な演習の実施も検討する。	岩永 洋平 (九州産業大学商学部 経営・流通学科教授)	オンライン (Zoom) (1) 
	11	9月19日 ^木 18:00 └ 19:30	観光データ分析 実務において観光調査を行うために必要なスキルとして、データの集め方から加工の仕方、表現の仕方などデータ分析に必要な一連の手法を学び、観光客数や観光消費額の推計に必要な考え方を身につける。	島田 龍 (九州産業大学地域共創学部 観光学科准教授)	オンライン (Zoom) (1) 
	12	9月25日 ^水 18:00 └ 19:30	京都市観光協会のデジタルマーケティング 観光分野において収集可能なデータや、想定されるデータ活用の種類を整理したうえで、京都市において実践しているデータ活用の事例(宿泊施設と連携した統計、旅行商品予約履歴を活用したメルマガ)を紹介し、デジタルマーケティングだからこそできることへの理解を深める。	堀江 卓矢 (公益社団法人 京都市観光協会 マーケティング課DMO企画 ・マーケティング専門官)	オンライン (Zoom) (1) 
	13	9月27日 ^金 18:00 └ 19:30	着地型観光コンテンツ開発 地域ならではの観光資源を活用した観光商品や体験プログラムを地域(着地)側が企画・運営するいわゆる「着地型観光」の動きを概観し、開発の手法と売れる商品づくりについて学ぶ。	永松 毅文 (九州産業大学地域共創学部 観光学科教授)	オンライン (Zoom) (1) 

Tourism Destination Management Leadership Development Program

区分	No.	実施日	科目名等 講義概要	担当者	授業方法 (コマ数)
Ⅲ 観光地マーケティング	14	9月28日 [±] 13:00 ＼ 14:30	デザイン思考と体験価値(1) デザイン思考を活用して実際の地域課題の解決を事例に、観光地域の問題・課題を解決するプロセスについて学ぶ。	青木 幹太 (株式会社碧蘭代表取締役)	対面 (1) 
	15	9月28日 [±] 14:50 ＼ 16:20	デザイン思考と体験価値(2) 体験価値創造の具体的な事例を参考に、デザイン思考のプロセスに沿って体験価値をデザインすることについて学ぶ。	青木 幹太 (株式会社碧蘭代表取締役)	対面 (1) 
Ⅳ 観光地経営組織マネジメント	16	9月30日 ^月 18:00 ＼ 19:30	観光地経営とステークホルダー DMOと地域ステークホルダーとの関係を、先進的な事例を通じて学び、DMOにおける合意形成について検討する。	大野 富彦 (群馬大学情報学部准教授)	オンライン (Zoom) (1) 
	17	10月3日 ^木 18:00 ＼ 19:30	プレゼンテーション プレゼンテーションの目的は、相手に対し理解や共感を得た上で、判断や行動を促すことである。そのためには相手の立場に立ち、伝えたいことをわかりやすく伝えることが大切である。広告業界で培った経験を交えながら、効果的なプレゼンテーションについて学ぶ。	堤 昌彦 (株式会社九州博報堂 第一ビジネスデザイン局 第一ビジネスデザイン部 部長)	オンライン (Zoom) (1) 
	18	10月5日 ^土 13:00 ＼ 14:30	ファシリテーション&ネゴシエーション(1) 合意形成や官民協働の実務などファシリテーションのリアルに触れる授業で、ファシリテーションの体験を基軸に、相即的に必要な現場スキルを体得すべくケーススタディを行う。	田坂 逸朗 (一般社団法人 地域価値共創センター 理事・センター長)	対面 (1) 
	19	10月5日 ^土 14:50 ＼ 16:20	ファシリテーション&ネゴシエーション(2) 合意形成や官民協働の実務などファシリテーションのリアルに触れる授業で、交渉の〈何が障壁となるか〉について考察しつつ、最新のネゴシエーションスキルに迫る。	田坂 逸朗 (一般社団法人 地域価値共創センター 理事・センター長)	対面 (1) 
V 観光地経営のアントレプレナーシップと事業開発	20	10月9日 ^水 18:00 ＼ 19:30	誘客・リピーター拡大への取り組みと観光DXの推進 九州観光機構では、広域連携DMOとして自治体、経済団体、各地域DMOや民間企業とも連携し地域の稼ぐ力を引き出すための取り組みを行っている。誘客・リピーター拡大と観光DX戦略について学ぶ。	濱崎 隆 (一般社団法人九州観光機構 事業本部副本部長)	オンライン (Zoom) (1) 

区分	No.	実施日	科目名等 講義概要	担当者	授業方法 (コマ数)
Ⅴ 観光地経営のアントレプレナーシップと事業開発	21	10月19日 ^土 13:00 ＼ 14:30	アントレプレナーシップ論(1) アントレプレナーシップは起業機会を起点とするプロセスであり、機会の認知(発見、創造)、機会評価、経営資源の獲得、遂行等で構成される。起業プロセスに沿って、機会の重要性、不確実性化の意思決定などを含め概括する。	五十嵐 伸吾 (九州大学ロバート・ファン /アントレプレナーシップ ・センター教授 ／副センター長)	対面 (1) 
	22	10月19日 ^土 14:50 ＼ 16:20	アントレプレナーシップ論(2) 起業プロセスに従って、起業機会発見(課題発見)とアイデア創出、デザイン思考、価値創造などについてワークショップを通じて体験的に学ぶ。	五十嵐 伸吾 (九州大学ロバート・ファン /アントレプレナーシップ ・センター教授 ／副センター長)	対面 (1) 
	23	10月26日 ^土 10月27日 ^日	現地学習(長崎県平戸市) 観光地域づくり、観光地経営に取り組んでいる地域の現状と課題について現地の担当者からレクチャーをいただいてから調査を行い、受講生がグループワークで課題解決策をまとめ、関係者にプレゼンテーションする。地域の関係者との意見交換を通して提案策に関するフィードバックを行う。(全員受講を勧める。)	千 相哲 (九州産業大学副学長 /地域共創学部観光学科教授) 田坂 逸朗 (一般社団法人 地域価値共創センター 理事・センター長) 藤田 法恵 (一般社団法人 平戸観光協会事務局長)	対面 (4) 
Ⅵ 地域観光のイノベーションと観光DX	24	10月30日 ^水 18:00 ＼ 19:30	イノベーションマネジメント(1) イノベーションとは、新たな価値を生み出す革新である。本講では、イノベーションの概念、類型、発生メカニズムなどに関する基礎知識を修得した上で、観光事業においてイノベーションを創出するための課題を理解する。	永田 晃也 (九州大学経済学研究院 産業マネジメント部門教授)	オンライン (Zoom) (1) 
	25	10月31日 ^木 18:00 ＼ 19:30	イノベーションマネジメント(2) 本講では、イノベーションを組織的知識創造のプロセスとして捉える理論を修得した上で、その理論的視点に立ったケース分析を通じて、観光事業におけるイノベーションの成立要因を検討する。	永田 晃也 (九州大学経済学研究院 産業マネジメント部門教授)	オンライン (Zoom) (1) 
	26	11月6日 ^水 18:00 ＼ 19:30	テクノバート・シンキング テクノバート・シンキングによる問題解決プロセスについて学ぶ。	鶴田 和寛 (九州産業大学理工学部 機械工学科教授)	オンライン (Zoom) (1) 
	27	11月8日 ^金 18:00 ＼ 19:30	新規マーケット開拓のインバウンドビジネス(1) ガイド付ツアーや体験コンテンツの販売、食、性の多様性、インバウンドビジネスの可能性、マーケティングの観点からのアプローチについて、多くの事例を中心に学ぶ。	帆足 千恵 (株式会社インアウト・ ツーリズム研究所 代表取締役)	オンライン (Zoom) (1) 

Tourism Destination Management Leadership Development Program

区分	No.	実施日	科目名等 講義概要	担当者	授業方法 (コマ数)
と観光DX VI地域観光のイノベーション	28	11月9日 [±] 13:00 ～ 14:30	新規マーケット開拓のインバウンドビジネス(2)	帆足 千恵 (株式会社インアウト・ ツーリズム研究所 代表取締役)	対面 (1) 
			宿泊業、旅行業、観光まちづくり、ガイドなどの現場において、インバウンドビジネスの取り組み方、展開の仕方に関して実践的に学ぶ。		
修了式		11月9日 [±] 14:50 ～ 15:50	修了式(リフレクション)	千 相哲 (九州産業大学副学長 /地域共創学部観光学科教授)	対面
			意見交換会及び修了証の交付を行う。		

九州産業大学では、令和9年度から2年間の「観光MBA」コースの開設を目指しています。本プログラムの受講者が
本学「観光MBA」課程に進学した場合、本プログラムの修了を「観光MBA」修了に必要な単位の一部として認定します。

▶ 観光地経営リーダー育成プログラムの概要

受講対象者



- 自治体、観光協会／DMO、観光まちづくりに取り組む団体等において観光地域づくりに関わっている人
- 観光系企業(宿泊業、旅行業、運輸業等)において高付加価値化、生産性向上に関心があり、今後中核を担う人
- 観光分野への事業多角化を図る企業の担当者であり、次のような学びを期待している人物を積極的に受け入れる。
 - ①観光地経営に必要なデータを収集し分析する力を身につけ活用したい。
 - ②事業計画から資金繰りまで経営に関する知識を深めたい。
 - ③観光商品の高付加価値化に関する具体的な手法を身につけたい。
 - ④観光振興や観光客の利便性向上といったメリットを得るための具体的な取り組み方を学びたい。
 - ⑤データとデジタル技術を活用して既存の観光サービスの質を向上し、課題を解決する力(観光DXの取り組み方)を身につけたい。
 - ⑥インバウンド対策・ビジネスの取り組み方を深く学びたい。



受講料



(1) 10万円 (別途、現地学習に伴う費用【バス代・保険料・宿泊費等】の実費をご負担いただきます。)
※ただし、『福岡県地域観光リーダー人材育成事業費補助金』の対象者のうち、本学の定める修了要件を満たした者は、受講料の還付(10万円)を受けることができます。(最大30名・先着順)

(2) 受講料の支払い
受付締切後(7月以降順次)にご登録の住所に「払込依頼書」を送付します。
コンビニエンスストアで「払込依頼書」にて受講料を支払い、店舗印付「払込金受領証」を受け取ってください。
払込金受領証を領収書とさせていただきます。
支払いの際は286円の払込手数料が必要となります。
払込依頼書に記載の支払期限を過ぎますと、払込みができなくなりますのでご注意ください。

(3) 受講のキャンセルおよび受講料の返還
やむを得ない理由によりキャンセルをされる場合は、講習開始前日までに必ずご連絡ください。
その際は受講料を返還致します。なお、受講開始後にキャンセルした場合は、受講料の返還は出来かねますので、あらかじめご了承ください。

プログラム実施期間 **8月31日(土)～11月9日(土) 全31コマ(1コマ90分)**

申込期間
申込方法

6月19日(水)～7月19日(金)先着順に受け付けます。

九州産業大学ホームページ(観光リカレント・リスキリングプログラム)または右記のQRコードからお申込みください。定員になり次第、締め切ります。
※『福岡県地域観光リーダー人材育成事業費補助金』の対象者は下記を参照して下さい。



受講方法

原則、平日はZOOM、土日は対面に実施します。(開設科目等一覧参照)
なお、業務等の都合により、当日の受講が難しい場合は「オンデマンド配信」(動画配信から3週間公開)での受講も可能です。併せて、受講後の復習等でもご活用ください。
(オンデマンド配信用のURL等については、申込受付締切後お知らせします。)



受講に関する
注意事項

(1) 対面での講義を行う建物(本館)は、当日の12時15分に開錠します。
講義開始10分前までに指定の会場に入室してください。(受講票と一緒にご案内します。)
(2) 大学内の学食及び売店等は利用できませんので、必要な方はご持参ください。



証明書について

現地学習を含む全プログラム(28科目 31コマ)のうち、7割以上出席した方に対し、修了証を交付いたします。

受講上特別な配慮を
必要とする方の受講について

身体に障害を有する等により、受講上特別な配慮を希望する方は、受講申込前に個別にご相談ください。

個人情報の
取り扱いについて

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の流出や不正使用を防ぎ適切に利用していくため、「九州産業大学個人情報保護方針(プライバシー・ポリシー)」に基づき、適正な利用、管理、保護に努めてまいります。
ご提出いただいた個人情報は、観光地経営リーダー育成プログラムに関連する業務のみに使用します。

▶ その他

傷害保険について

観光地経営リーダー育成プログラムの主催者として、プログラムのための保険には加入しませんので、傷害保険等の加入は、受講者各人の判断により対応願います。(現地実習は別途加入の手続きをいたします)

問合せ窓口について

九州産業大学リカレント・リスキリング教育担当(大学改革推進本部)
受付時間: 月～金曜日9:00-17:30(昼休み11:20-12:20を除く)
※ただし2024年8月2日(金)～8月15日(木)の間は夏期休業期間のため事務取扱い(電話及びメール対応)が出来ませんので、ご了承ください。
〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1
TEL: 092-673-5178/5513 FAX: 092-673-5165
E-mail : ksu-management@ml.kyusan-u.ac.jp



駐車場について

受講票送付時に、ご案内いたします。



交通アクセス・学内マップは、本学ホームページをご参照ください。



▶ 「福岡県地域観光リーダー人材育成事業」

概要

福岡県内の市町村や観光関連団体(観光協会・DMO)からの推薦を受け、受講申込時に「推薦書(指定様式)」を本学に提出した受講生のうち、本学の定める修了要件を満たした者は、受講料の還付(10万円)を受けることができます。**(最大30名・先着順)**
本事業の適用を希望する者は、受講申込の前に必ず各市町村等へお問い合わせください。

対象者

以下のすべてに該当する者
①県内在住者
②県内の市町村や観光関連団体(観光協会・DMO)が推薦する地域観光リーダー候補者
③本学が定める修了要件を満たす者



申込方法

「観光地経営リーダー育成プログラム」の申込の際に、受付システムに「推薦書」をアップロードしてください。

※「福岡県地域観光リーダー人材育成事業費補助金」に関する御案内が、福岡県商工部観光局観光政策課から、推薦団体となる各市町村及び観光関連団体(観光協会・DMO)に送付されていますので、受講申込前に「推薦書」の依頼をしてください。